

【普通科・商業科・事務情報科】 1 年次 【選択】科目「音楽Ⅰ」授業のシラバス

1 概要

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ	単位数(コマ数)	2 (78)
科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、完成を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。				
教科書(出版社)	高校生の音楽1 (教育芸術社)	副教材(出版社)	なし		

2 学習の方法

(1) 予習について

音楽は実技を中心に、演奏技能の習得と表現力の育成に重点を置いて授業を進めていきます。事前に扱う楽曲について調べたり、音源を聞いたりしておくことで良いでしょう。また、歌唱曲では自分の担当するパートの音取りや母音唱、器楽曲では、運指の練習やリズム打ちなどを事前に行うことで、演奏技能の習得の大きな助けとなります。

(2) 授業について

授業は、歌唱や器楽、創作、鑑賞の実技が中心の科目です。単元ごとに目標を定め、自己評価や反省を繰り返すことで、着実に技能を習得していけるよう積極的に授業に参加してください。また、技能や表現力をより高めるためには、音楽的な知識（楽典など）やソルフェージュ力が必要です。ワークシート等を丁寧に記入し、配付されたプリントや楽譜はフラットファイル等にまとめるよう心がけて下さい。予習復習が難しい科目ですので、毎回の授業に集中して取り組むことが最善の学習方法となります。

(3) 復習について

授業中に次時の課題について予告します。単元の目標を達成するために、その日の授業で不足していた部分や新しく学んだことを繰り返し練習するようにしてください。演奏技能は、反復練習によってのみ身につけていきます。

〈学習アドバイス〉

単元ごとに達成度を見る実技試験や筆記試験、発表会等を行います。全体の授業の中での指導内容だけでなく、実技の練習中に受けたアドバイスもしっかりとメモするよう心がけてください。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
②音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。
③音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。
④鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料		実技試験	単元確認 テスト	振り返り カード	楽典 プリント	ワーク シート	鑑賞の 記録
観 点	割合						
①音楽への関心・意欲・態度	25 %	×	○	◎	◎	◎	○
②音楽表現の創意工夫	25 %	◎	○	△	×	○	×
③音楽表現の技能	25 %	◎	○	△	◎	○	×
④鑑賞の能力	25 %	×	○	△	×	○	◎

〈担当者からのメッセージ〉

①授業規律、生活の心得を守り、授業に臨むこと。

音楽は、自らの感性を豊かに働かせながら、積極的に表現していかなければなりません。音楽への興味や関心を高め、音楽について考えを深めていける雰囲気や環境づくりが重要です。授業規律や心得に関する指導を授業中に受けることのないよう心がけてください。

②仲間を思いやり、共に学ぶ姿勢を大切にすること。

ペアワークやグループワークが多くあります。共に学ぶ仲間への思いやりと敬意を忘れず、意見を真摯に受け止め、認め合える態度で授業に臨むようにしてください。

③教材教具の管理をすること。

各自、配付されたプリントや楽譜を挟むフラットファイルを用意してください。また、アルトリコーダーを使用しますので、中学校で使用したアルトリコーダーを用意してください。

【普通科・商業科・事務情報科】 1 年次 【選択】科目「音楽Ⅰ」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	1 スタート！高校の音楽！	4 4 2	(1)校歌 (2)ひまわりの約束 (3)実技試験（独唱）	①②③	歌唱曲に親しむとともに、歌詞とリズムをどのように表現するかを考え、創意工夫して歌っている。	実技試験（独唱）
5	2 音色を生かして演奏しよう ① （アルトリコーダー）	7 2	(1)翼をください (2)器楽実技試験（アルトリコーダー独奏）	①②③	アルトリコーダーの音色や奏法の特徴を生かし、曲想にあった音楽表現を工夫し、イメージをもって演奏している。	実技試験（アルトリコーダー独奏）
6	3 混声合唱の響きを求めて	4 4 2	(1)時の旅人 (2)ふるさと (3)実技試験（グループ歌唱）	①②③	合唱活動に関心をもち、歌詞の内容や曲想を生かして、声部の役割を理解し、全体の響きに調和させて、表現を工夫して合唱している。	実技試験（グループ合唱）
7	4 西洋音楽の世界①	2 1	(1)ベートーヴェンの生涯 (2)交響曲第9番	①④	楽器の音色の特徴と表現とのかかわりを感じ取り、楽曲や演奏を解釈して、それらの価値について理解し聴いている。	鑑賞の記録
8	5 音色を生かして演奏しよう ② （クラシックギター）	4 2 4 2	(1)Happy Birthday (2)器楽実技試験 (3)カントリーロード (4)器楽実技試験	①②③	クラシックギターの音色や奏法の特徴を生かし、曲想にあった音楽表現を工夫し、イメージをもって演奏している。	実技試験（クラシックギター）
9	6 西洋音楽の世界②	2 1	(1)シューベルトの生涯 (2)菩提樹	①④	楽器の音色の特徴と表現とのかかわりを感じ取り、楽曲や演奏を解釈して、それらの価値について理解し聴いている。	鑑賞の記録
後期 10	7 アンサンブルの楽しみ① （歌唱）	3 3 1	(1)A whole new world (2)風になりたい (3)歌唱実技試験	①②③	声部の役割を理解し、ユニゾンやハーモニーによる音色の特徴や歌詞やリズムの特徴を生かしながら、全体の響きに気をつけてアンサンブルをしている。	実技試験（グループ合唱）
11	8 西洋音楽の世界③	2 1	(1)ショパンの生涯 (2)英雄ポロネーズ	①④	楽器の音色の特徴と表現とのかかわりを感じ取り、楽曲や演奏を解釈して、それらの価値について理解し聴いている。	鑑賞の記録
12	9 アンサンブルの楽しみ② （ミュージックベル）	2 3 1	(1)ジングルベル (2)きよしこの夜 (3)グループ発表会	①②③	パートの役割を理解し、楽器の音色や奏法の特徴を生かしながら、全体の響きに気をつけてアンサンブルをしている。	実技試験（グループ演奏）
1	10 箏を演奏しよう	3 3 2	(1)さくら変奏曲 (2)箏曲「六段の調べ」 (3)器楽実技試験	①②③	箏の音色や奏法の特徴を生かして、音楽表現を工夫しているか。またその音楽表現に必要な技能を身につけている。	実技試験（箏独奏）
2	11 舞台芸術の世界	1 1 1	(1)ミュージカル「キャッツ」 (2)オペラ「アイダ」 (3)歌舞伎「勧進帳」	①④	オペラ・ミュージカル・歌舞伎の舞台芸術の特徴を理解し、それらの文化的・歴史的背景に関心をもち、そのよさや価値について考え味わい聴いている。	鑑賞の記録
3	12 創作に挑戦しよう	4 計 78	(1)5音音階による作曲 （箏を用いて）	①②③	音階の特徴を生かし、音楽を形づくっている要素の働きや構成を工夫して、自己のイメージにあった音楽をつくっている。	ワークシート

※ 観点別評価①は音楽への関心・意欲・態度、②は音楽表現の創意工夫、③は音楽表現の技能、④は鑑賞の能力を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。